

国内空港会社初

グリーンボンド・フレームワークに対する第三者評価を取得しました

～2023年秋を目途にグリーンボンドを発行いたします～

成田国際空港株式会社は、本日、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、当社のグリーンボンド・フレームワーク（以下、本フレームワーク）に対して国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）が定義する「グリーンボンド原則（GBP）2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン 2022年版」に適合している旨の第三者評価を取得しました。

国内の空港運営会社がグリーンボンドに関する第三者評価を取得するのは初めてです。本評価を取得したことに伴い、本フレームワークに則り当社が発行する社債はグリーンボンドとなり、今秋を目途に発行を目指しております。調達資金の用途となるプロジェクトは、4つの適格クライテリアに分類されるものを予定しております。

【資金用途】

適格クライテリア	適格プロジェクト
再生可能エネルギー	・太陽光発電パネルの設置 ・水素やカーボンリサイクルなどの次世代の脱炭素技術の導入 ※関連会社であるGreen Energy Frontierを通じての実施等
グリーン輸送	・SAF導入の推進、受入体制の整備 ・空港内車両の低公害車化促進（含む充電設備の整備）
エネルギー効率	・保有施設または新規建設予定施設のZEB化（ZEB Oriented以上の水準） ・省エネルギー機器の導入促進 ・航空灯火のLED化 ・GPUの整備
環境に配慮した生産技術及びプロセス	・空港から発生したコンクリート・アスファルト廃材の再資源化

本件を通じて、当社の環境課題への取り組みをより多くの方々に認知していただきながら、グリーンボンドで調達した資金を活用し、空港分野における脱炭素化を強力に推進することで、ESGに配慮した持続可能な空港づくりを進めてまいります。

～おかげさまで成田空港は開港45周年を迎えました～

 成田国際空港株式会社

〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内 NAA ビル

URL : <https://www.narita-airport.jp/jp/>

【参考 1】ESG 債の種類

Environment (グリーンボンド)

地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に資するグリーンプロジェクトに充てる資金を調達するために発行する資金用途特定型債券

Social (ソーシャルボンド)

教育・福祉・衛生などの社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトに充てる資金を調達するために発行する資金用途特定型債券

Sustainable

(サステナビリティボンド)

グリーン、ソーシャル両方のプロジェクトに充てる資金を調達するために発行する資金用途特定型債券

【参考 2】サステナブル NRT2050 目標値 (抜粋)

2030 年度目標 (中期)

- NAA グループが排出する CO2 を 2015 年度比で 30%削減します
- 成田空港から排出される CO2 を 2015 年度比で発着回数 1 回あたり 30%削減します

2050 年度目標 (長期)

- NAA グループが排出する CO2 をネットゼロにします
- 成田空港から排出される CO2 を 2015 年度比で 50%削減します

【参考 3】フレームワークとセカンドオピニオン

当社のグリーンボンド・フレームワークはこちら (PDF)

<https://www.naa.jp/jp/ir/green.html>

R&I セカンドオピニオンはこちら (外部リンク)

<https://www.r-i.co.jp/rating/index.html>